

## 日本生殖医学会学術奨励賞選考規定

1. 対象論文
  - ① 前年度本学会誌 (Reproductive Medicine and Biology) 掲載原著論文。(※レビューと症例報告を除く。)
  - ② 上記以外 (国内外を問わず) で、前年度に掲載された又は前年度にオンライン化された原著論文。但し候補論文として審査の対象となるのは1回とする。さらに論文の内容の大部分または全てが日本生殖医学会に発表されており、その抄録を添付する。また、学会発表と雑誌掲載の時期の前後は問わない。但し、地方部会は除く。
  - ③ 受理時点で年齢は45歳以下の者。
  - ④ 予備選考委員会の開催日現在、日本生殖医学会の会員であるもの。
2. 推薦方法  
自薦または他薦  
他薦は本学会の理事、代議員、大学教授 (会員)、学会誌レフリーが推薦する。
3. 選考方法  
予備選考委員会で予め推薦論文より候補論文を選考し、この候補論文の中から選考委員会が授賞論文を決定する。
  - ① 予備選考委員会は学術担当理事を委員長とし、編集担当理事、学術・編集担当幹事、幹事長を以て構成する。
  - ② 予備選考委員会で3部門より各々数編の授賞候補論文を選出する。
  - ③ 選考委員会では理事長を委員長とし、副理事長、学術・編集担当理事を以て構成し、幹事長は選考委員会に陪席し事務事項を担当する。
  - ④ 専門分野に分けて審査を行う。
4. 賞  
本学会より賞状を授与する。また副賞として、日本生殖医学会シェリング・プラウ学術奨励賞賞状および学術奨励金50万円を授与する。
5. 公表  
総会において授与し、総会後に発刊する号にて受賞論文および氏名を公表する。

平成14年10月3日改訂  
平成16年9月2日改訂  
平成17年8月30日改訂  
平成18年4月1日改訂  
平成20年10月22日改訂  
平成21年11月22日改訂